

## 【特殊詐欺についてのアンケート】

調査期間 R4.8.2 ～ R4.8.15  
回答率 84.9% 回答者数 270人

### アンケートの趣旨

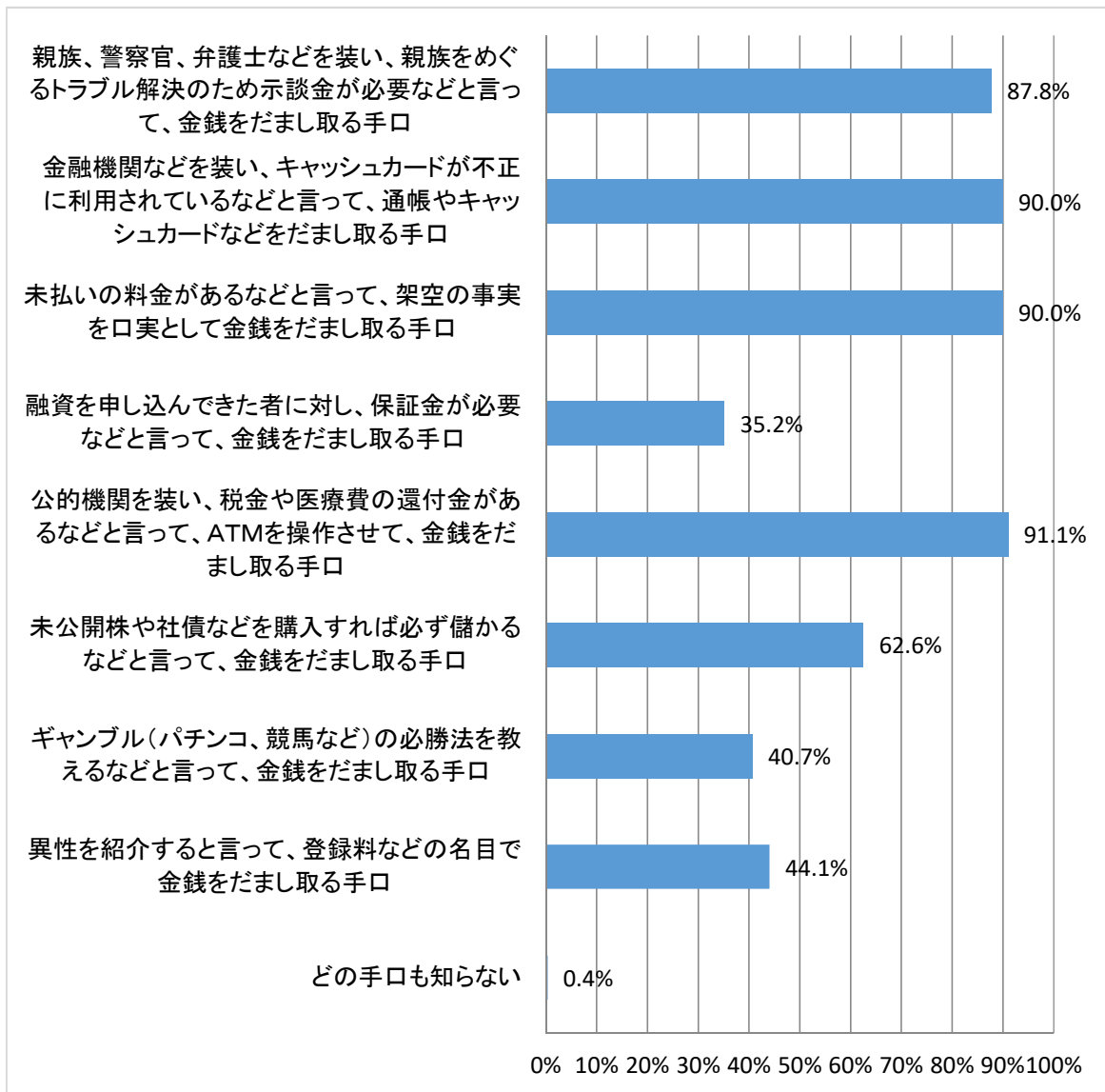
県内における、令和4年上半期の特殊詐欺の認知件数は27件(前年同期比+10件)、被害総額は約2,310万円(前年同期比-約3,083万円)であり、被害額は減少しているものの、認知件数が大幅に増加しており、依然として厳しい状況にあります。

県警では、特殊詐欺の抑止対策として広報啓発活動などを実施しているところですが、さらなる抑止に向けた効果的な対策を講じていく必要があります。

つきましては、県民の皆さまに特殊詐欺についてアンケートを行い、今後の取り組みに反映したいので、ご協力をよろしくお願いいたします。

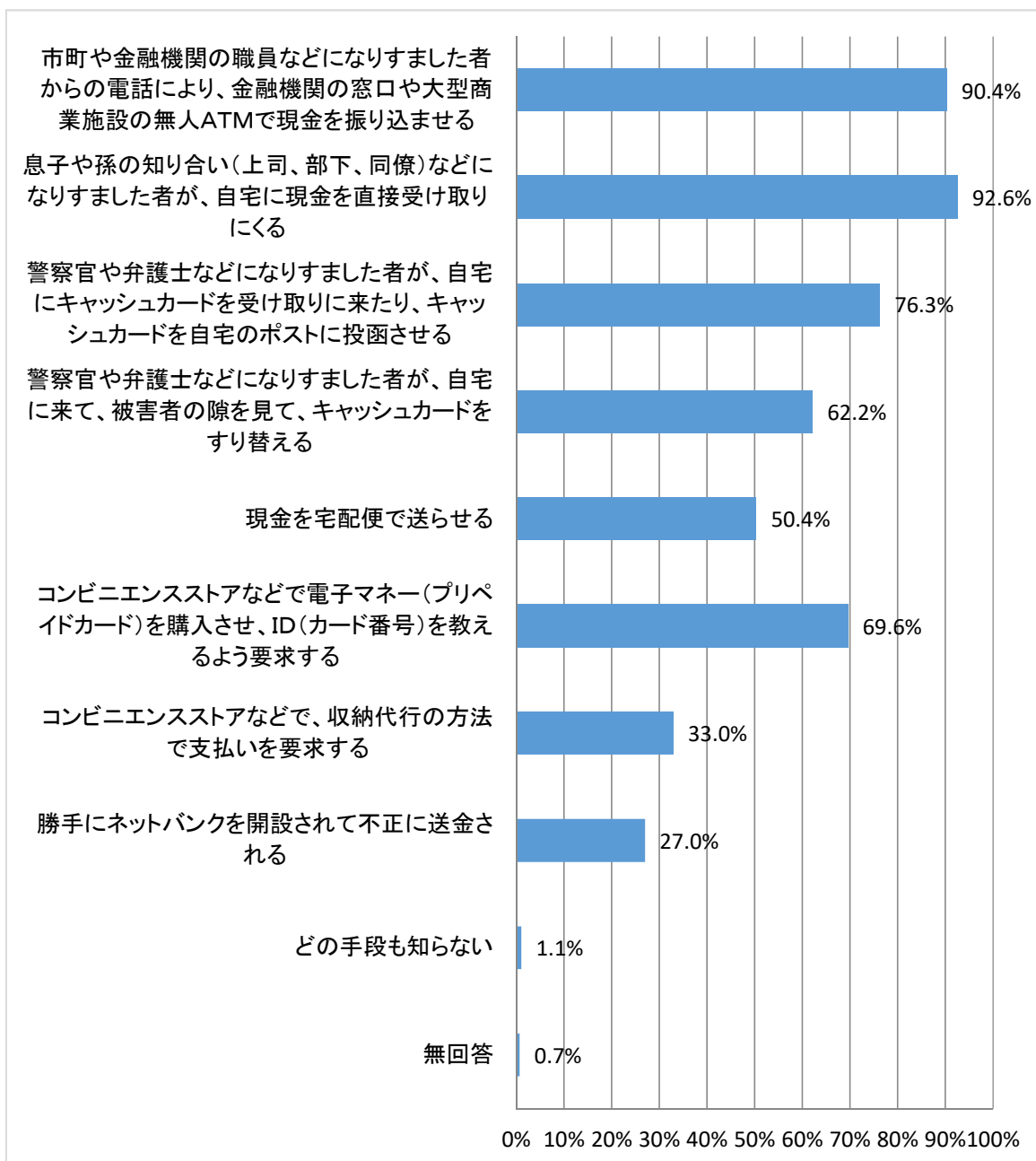
〔問1〕 あなたは、特殊詐欺の手口としてどのようなものを知っていますか。知っているものを次の中からすべて選んでください。

選択肢	回答者数 270	
	回答者数	構成比
親族、警察官、弁護士などを装い、親族をめぐるトラブル解決のため示談金が必要などと言って、金銭をだまし取る手口	237	87.8%
金融機関などを装い、キャッシュカードが不正に利用されているなどと言って、通帳やキャッシュカードなどをだまし取る手口	243	90.0%
未払いの料金があるなどと言って、架空の事実を口実として金銭をだまし取る手口	243	90.0%
融資を申し込んできた者に対し、保証金が必要などと言って、金銭をだまし取る手口	95	35.2%
公的機関を装い、税金や医療費の還付金があるなどと言って、ATMを操作させて、金銭をだまし取る手口	246	91.1%
未公開株や社債などを購入すれば必ず儲かるなどと言って、金銭をだまし取る手口	169	62.6%
ギャンブル(パチンコ、競馬など)の必勝法を教えるなどと言って、金銭をだまし取る手口	110	40.7%
異性を紹介すると言って、登録料などの名目で金銭をだまし取る手口	119	44.1%
どの手口も知らない	1	0.4%



〔問2〕 特殊詐欺の犯人が現金をだまし取る手段としてどのようなものを知っていますか。あなたが知っているものを次の中からすべて選んでください。

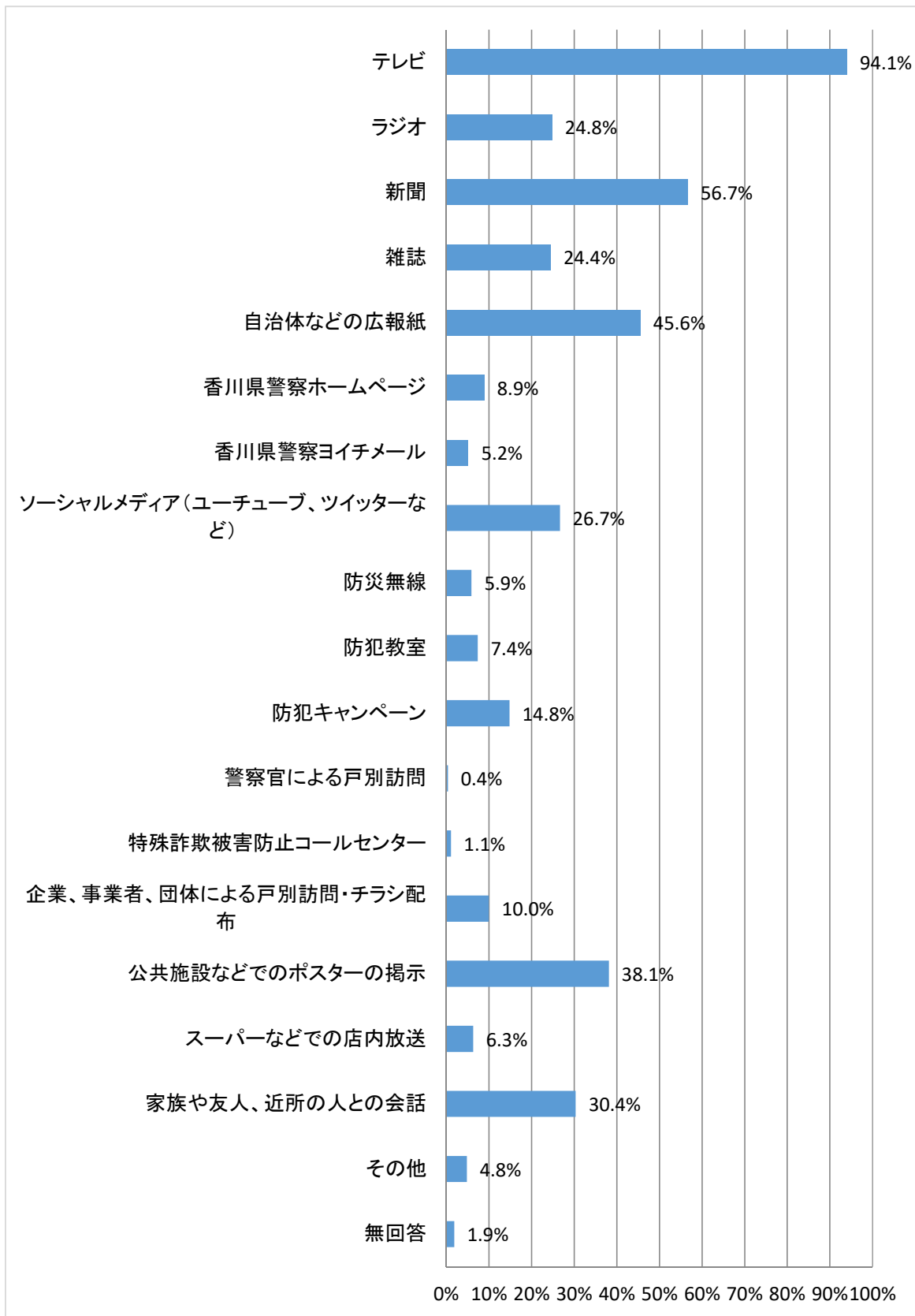
選択肢	回答者数 270	
	回答者数	構成比
市町や金融機関の職員などになりすました者からの電話により、金融機関の窓口や大型商業施設の無人ATMで現金を振り込ませる	244	90.4%
息子や孫の知り合い(上司、部下、同僚)などになりすました者が、自宅に現金を直接受け取りにくる	250	92.6%
警察官や弁護士などになりすました者が、自宅にキャッシュカードを受け取りに来たり、キャッシュカードを自宅のポストに投函させる	206	76.3%
警察官や弁護士などになりすました者が、自宅に来て、被害者の隙を見て、キャッシュカードをすり替える	168	62.2%
現金を宅配便で送らせる	136	50.4%
コンビニエンスストアなどで電子マネー(プリペイドカード)を購入させ、ID(カード番号)を教えるよう要求する	188	69.6%
コンビニエンスストアなどで、収納代行の方法で支払いを要求する	89	33.0%
勝手にネットバンクを開設されて不正に送金される	73	27.0%
どの手段も知らない	3	1.1%
無回答	2	0.7%



〔問3〕 問1、2で特殊詐欺の手口や犯人が現金をだまし取る手段について1つでも知っているとお伺いします。

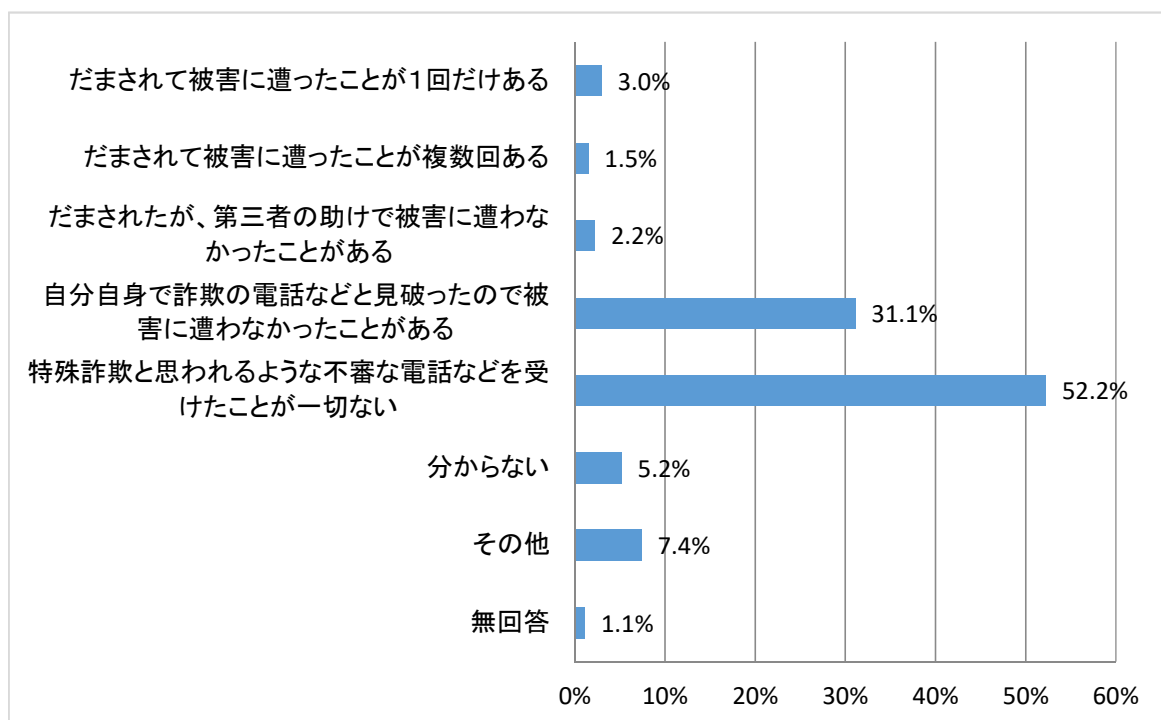
あなたは、特殊詐欺の手口や犯人が現金をだまし取る手段を何で知りましたか。次の中からすべて選んでください。

選択肢	回答者数 270	
	回答者数	構成比
テレビ	254	94.1%
ラジオ	67	24.8%
新聞	153	56.7%
雑誌	66	24.4%
自治体などの広報紙	123	45.6%
香川県警察ホームページ	24	8.9%
香川県警察ヨイチメール	14	5.2%
ソーシャルメディア(ユーチューブ、ツイッターなど)	72	26.7%
防災無線	16	5.9%
防犯教室	20	7.4%
防犯キャンペーン	40	14.8%
警察官による戸別訪問	1	0.4%
特殊詐欺被害防止コールセンター	3	1.1%
企業、事業者、団体による戸別訪問・チラシ配布	27	10.0%
公共施設などでのポスターの掲示	103	38.1%
スーパーなどでの店内放送	17	6.3%
家族や友人、近所の人との会話	82	30.4%
その他	13	4.8%
無回答	5	1.9%



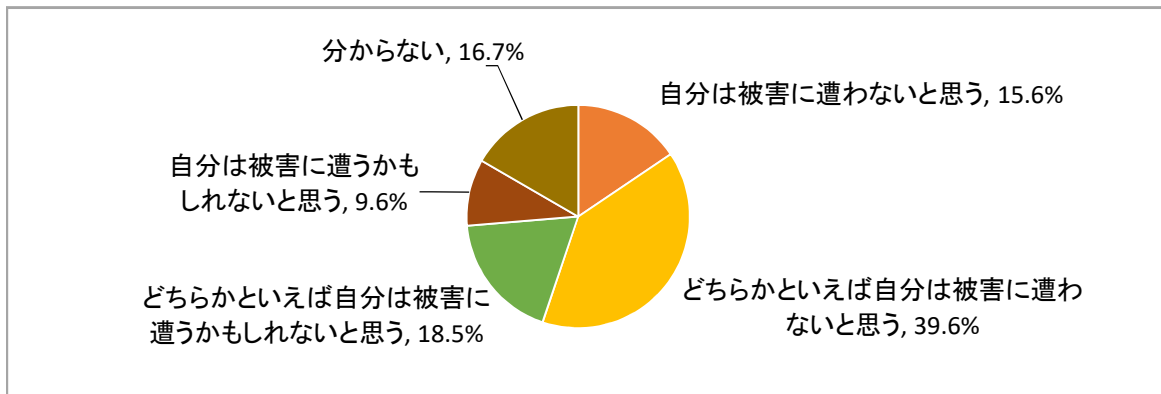
〔問4〕 あなたは、これまでに特殊詐欺と思われるような不審な電話などで、だまされたこと、またはだまされそうになったことはありますか。そのときご経験されたことを次の中からすべて選んでください。

選択肢	回答者数 270	
	回答者数	構成比
だまされて被害に遭ったことが1回だけある	8	3.0%
だまされて被害に遭ったことが複数回ある	4	1.5%
だまされたが、第三者の助けで被害に遭わなかったことがある	6	2.2%
自分自身で詐欺の電話などを見破ったので被害に遭わなかったことがある	84	31.1%
特殊詐欺と思われるような不審な電話などを受けたことが一切ない	141	52.2%
分からない	14	5.2%
その他	20	7.4%
無回答	3	1.1%



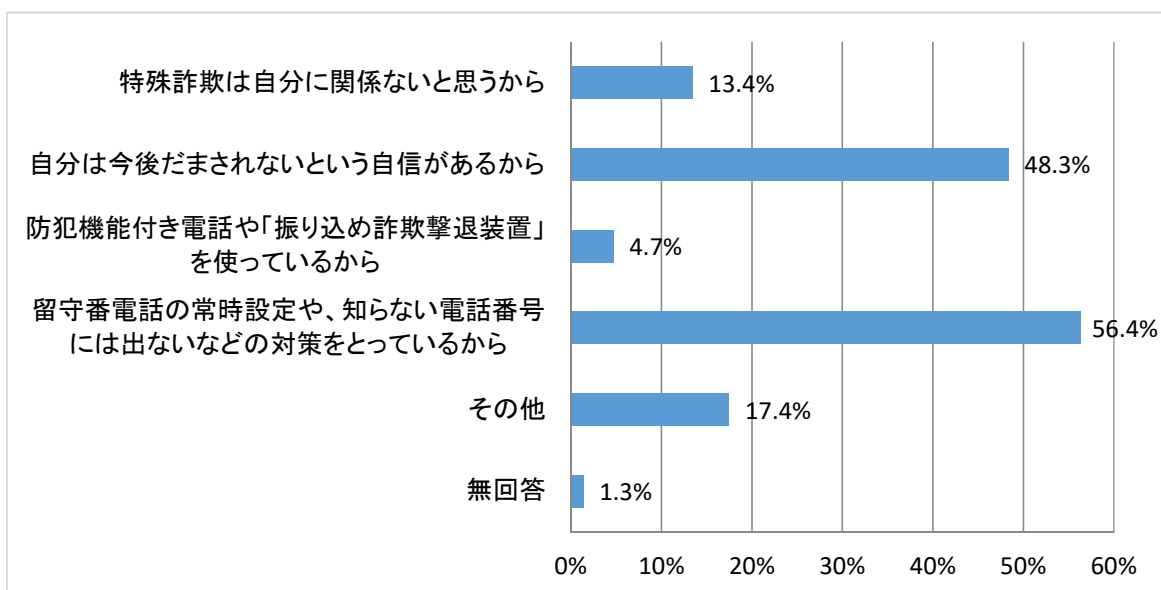
〔問5〕 今後の特殊詐欺の被害に対するあなたの意識について、最も近いものはどれですか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
自分は被害に遭わないと思う	42	15.6%
どちらかといえば自分は被害に遭わないと思う	107	39.6%
どちらかといえば自分は被害に遭うかもしれないと思う	50	18.5%
自分は被害に遭うかもしれないと思う	26	9.6%
分からない	45	16.7%
計	270	100.0%



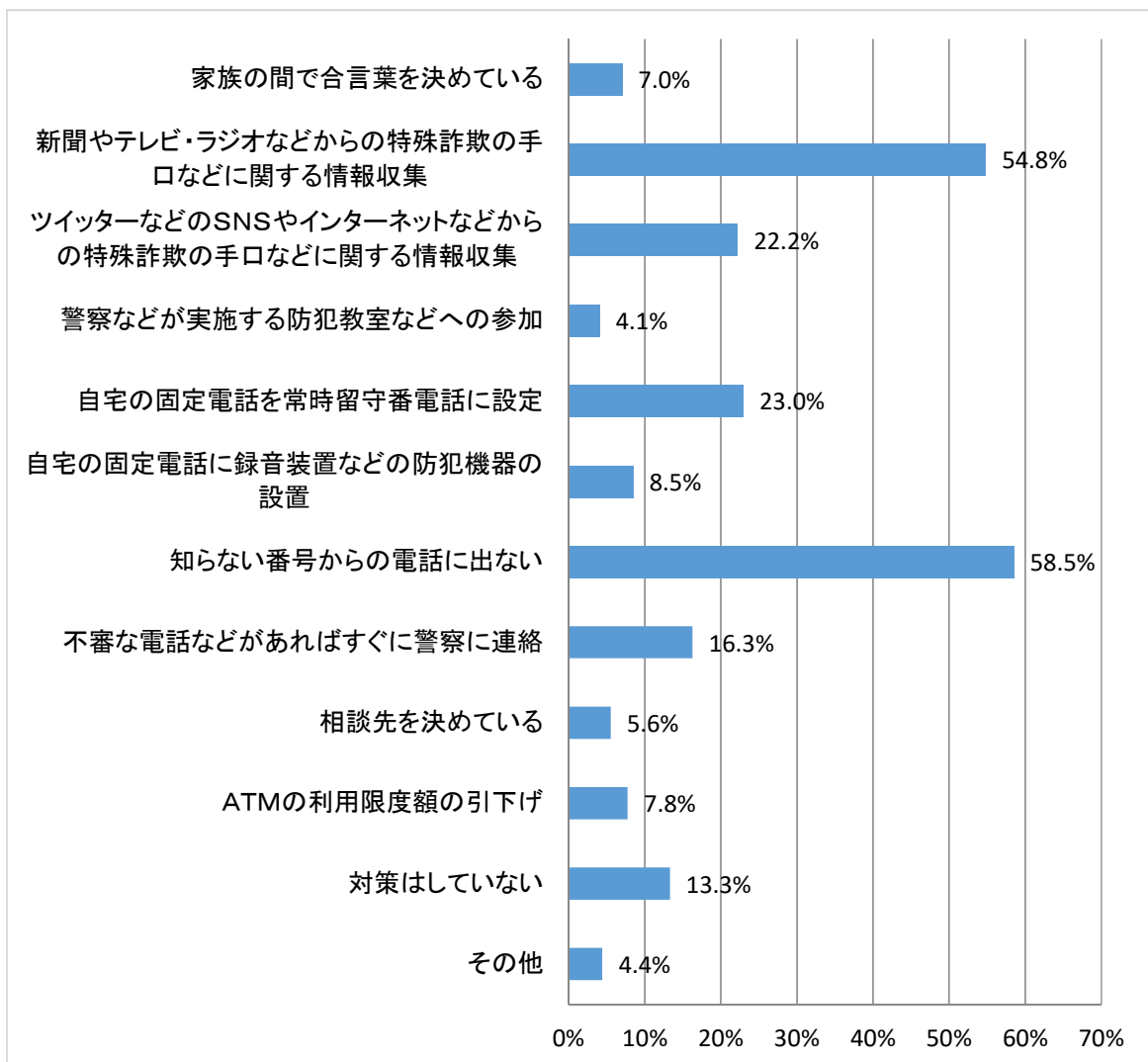
〔問5-1〕 問5で「自分は被害に遭わないと思う」、「どちらかといえば自分は被害に遭わないと思う」と答えた方にお伺いします。その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
特殊詐欺は自分に関係ないと思うから	20	13.4%
自分は今後だまされないという自信があるから	72	48.3%
防犯機能付き電話や「振り込め詐欺撃退装置」を使っているから	7	4.7%
留守番電話の常時設定や、知らない電話番号には出ないなどの対策をとっているから	84	56.4%
その他	26	17.4%
無回答	2	1.3%



〔問6〕 あなたやあなたの家族が、特殊詐欺の被害に遭わないためにとっている対策は何ですか。次の中からすべて選んでください。

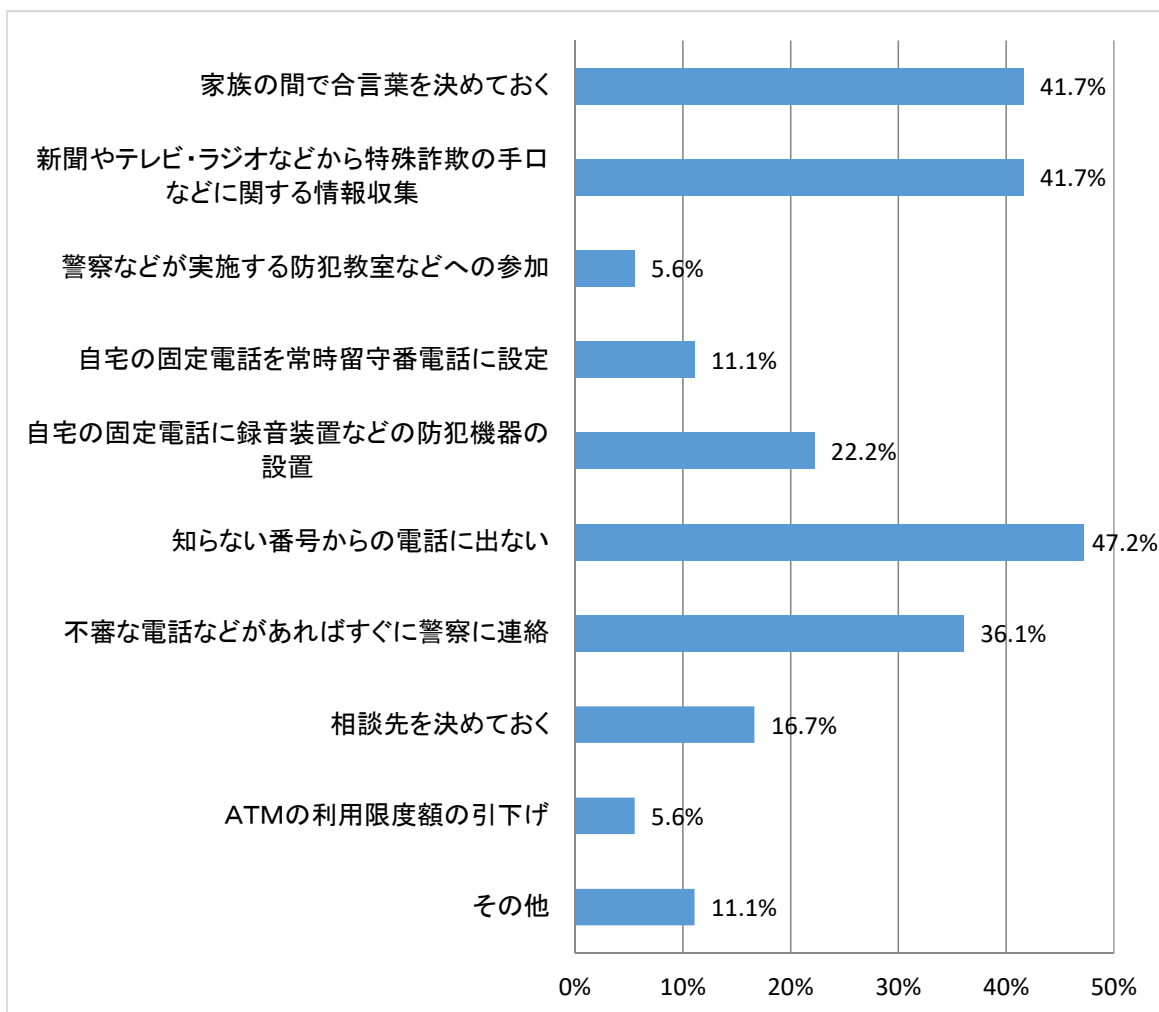
選択肢	回答者数 270	
	回答者数	構成比
家族の間で合言葉を決めている	19	7.0%
新聞やテレビ・ラジオなどからの特殊詐欺の手口などに関する情報収集	148	54.8%
ツイッターなどのSNSやインターネットなどからの特殊詐欺の手口などに関する情報収集	60	22.2%
警察などが実施する防犯教室などへの参加	11	4.1%
自宅の固定電話を常時留守番電話に設定	62	23.0%
自宅の固定電話に録音装置などの防犯機器の設置	23	8.5%
知らない番号からの電話に出ない	158	58.5%
不審な電話などがあればすぐに警察に連絡	44	16.3%
相談先を決めている	15	5.6%
ATMの利用限度額の引下げ	21	7.8%
対策はしていない	36	13.3%
その他	12	4.4%





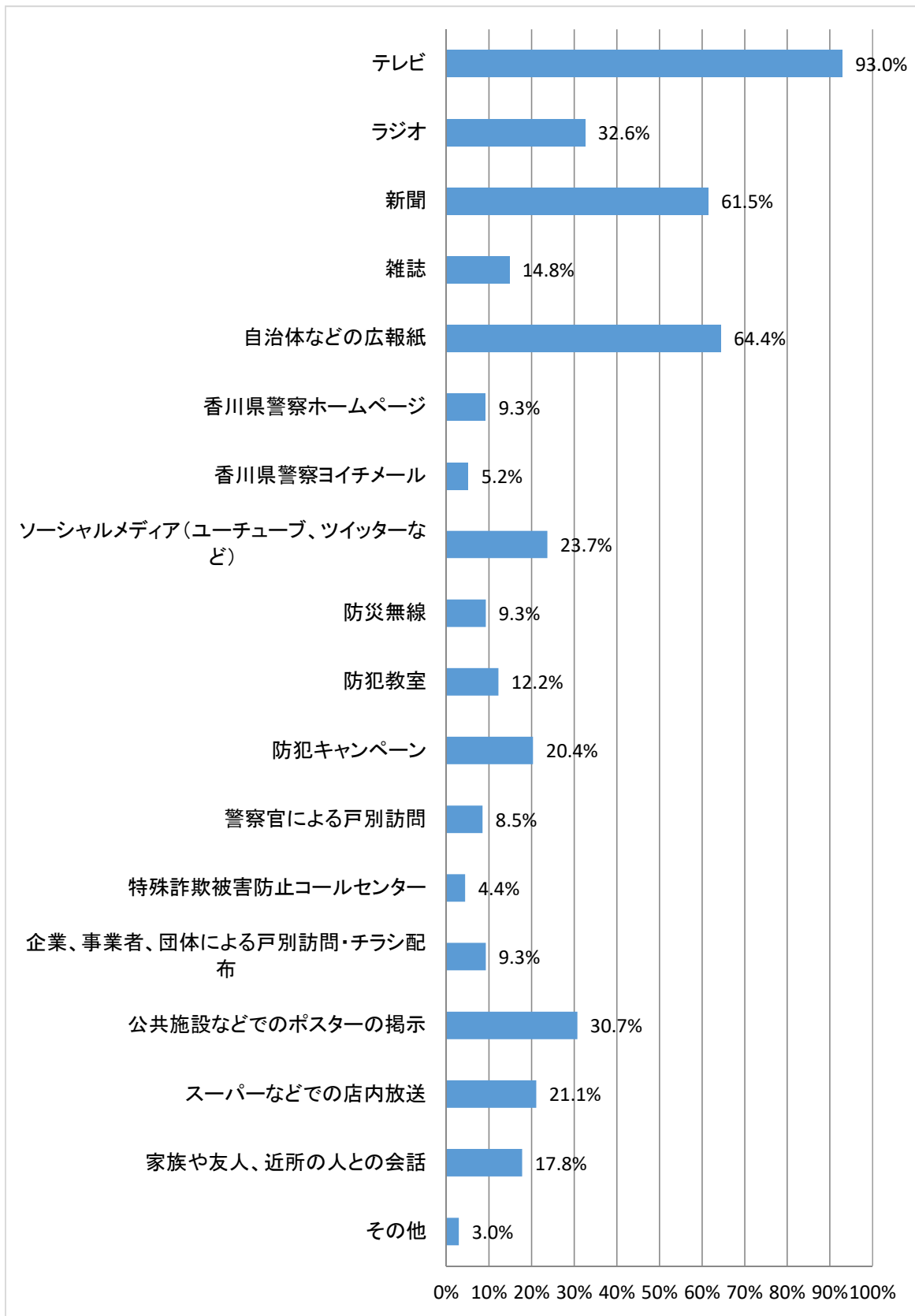
〔問6-1〕 問6で「対策はしていない」と答えた方にお伺いします。  
 特殊詐欺の被害を防止するために、あなたが今後取り入れるとすれば、どの対策ですか。次の中から3つまで選んでください。

選択肢	回答者数 36	
	回答者数	構成比
家族の間で合言葉を決めておく	15	41.7%
新聞やテレビ・ラジオなどから特殊詐欺の手口などに関する情報収集	15	41.7%
警察などが実施する防犯教室などへの参加	2	5.6%
自宅の固定電話を常時留守番電話に設定	4	11.1%
自宅の固定電話に録音装置などの防犯機器の設置	8	22.2%
知らない番号からの電話に出ない	17	47.2%
不審な電話などがあればすぐに警察に連絡	13	36.1%
相談先を決めておく	6	16.7%
ATMの利用限度額の引下げ	2	5.6%
その他	4	11.1%



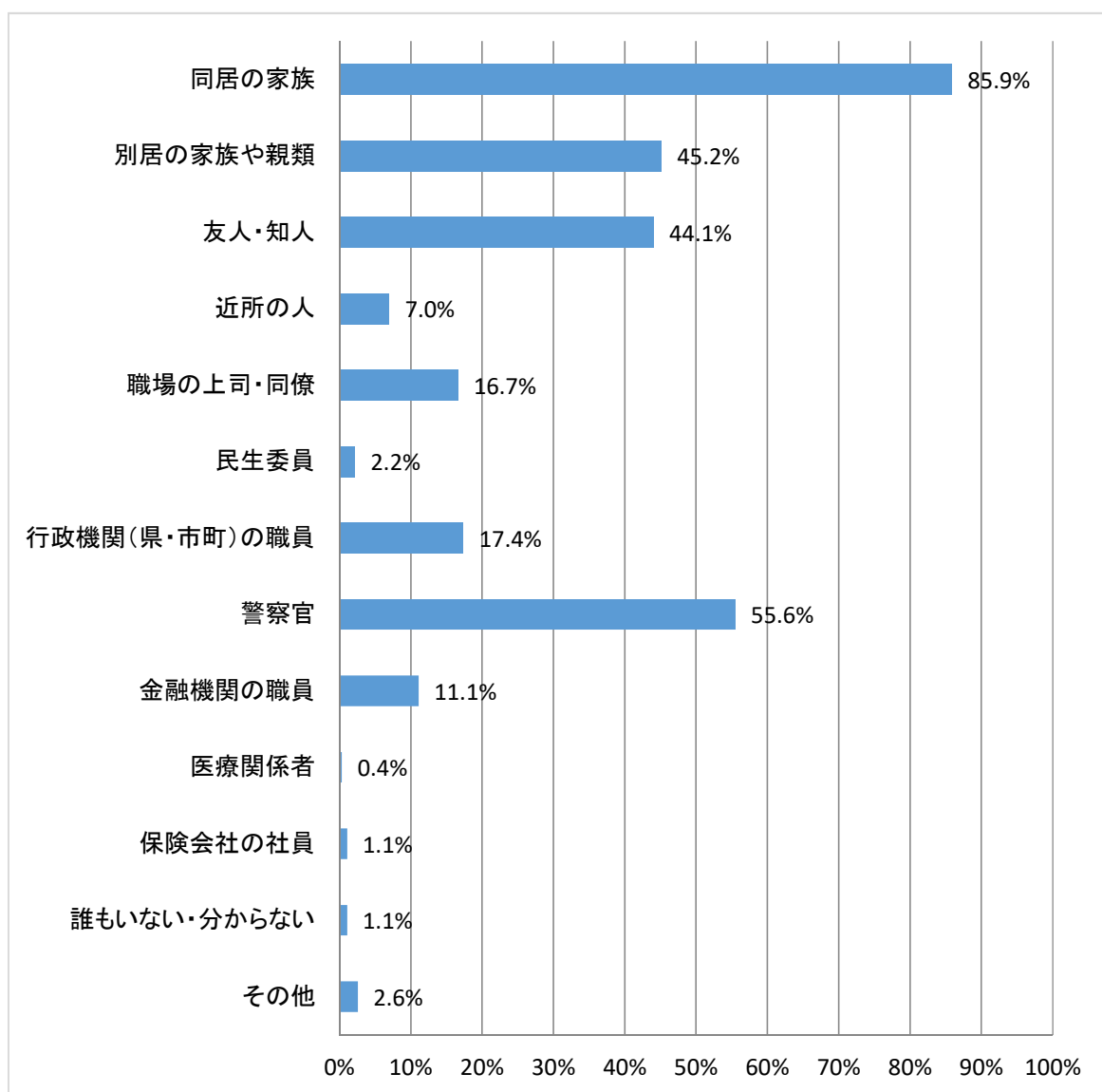
〔問7〕 あなたは、特殊詐欺に関する情報が、どのような手段や機会で、提供されたらよいと思いますか。次の中から5つまで選んでください。

選択肢	回答者数 270	
	回答者数	構成比
テレビ	251	93.0%
ラジオ	88	32.6%
新聞	166	61.5%
雑誌	40	14.8%
自治体などの広報紙	174	64.4%
香川県警察ホームページ	25	9.3%
香川県警察ヨイチメール	14	5.2%
ソーシャルメディア(ユーチューブ、ツイッターなど)	64	23.7%
防災無線	25	9.3%
防犯教室	33	12.2%
防犯キャンペーン	55	20.4%
警察官による戸別訪問	23	8.5%
特殊詐欺被害防止コールセンター	12	4.4%
企業、事業者、団体による戸別訪問・チラシ配布	25	9.3%
公共施設などでのポスターの掲示	83	30.7%
スーパーなどでの店内放送	57	21.1%
家族や友人、近所の人との会話	48	17.8%
その他	8	3.0%



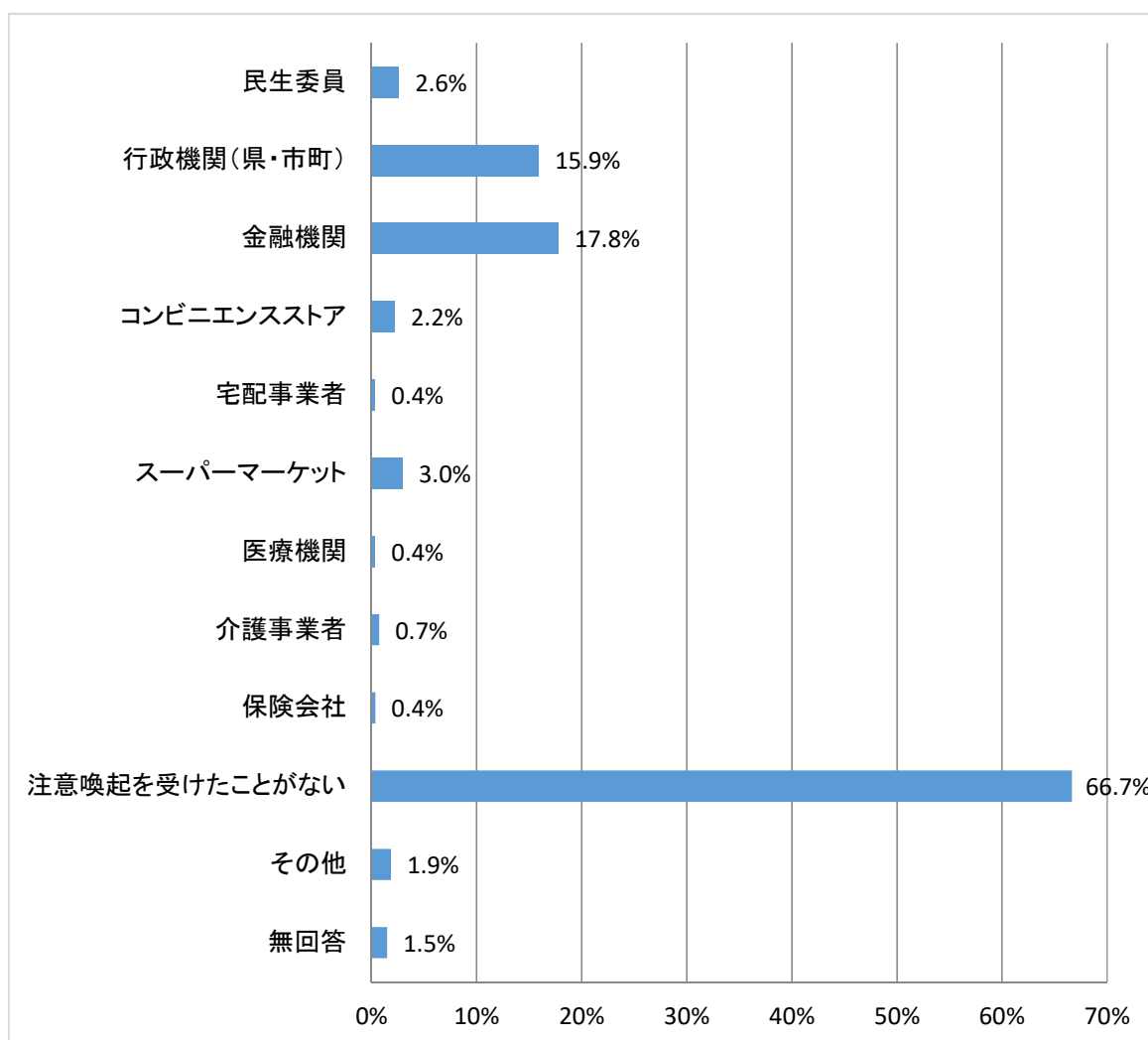
〔問8〕 あなたは、特殊詐欺を疑うような不審な連絡があった場合に誰に相談しますか。次の中からすべて選んでください。

選択肢	回答者数 270	
	回答者数	構成比
同居の家族	232	85.9%
別居の家族や親類	122	45.2%
友人・知人	119	44.1%
近所の人	19	7.0%
職場の上司・同僚	45	16.7%
民生委員	6	2.2%
行政機関(県・市町)の職員	47	17.4%
警察官	150	55.6%
金融機関の職員	30	11.1%
医療関係者	1	0.4%
保険会社の社員	3	1.1%
誰もいない・分からない	3	1.1%
その他	7	2.6%



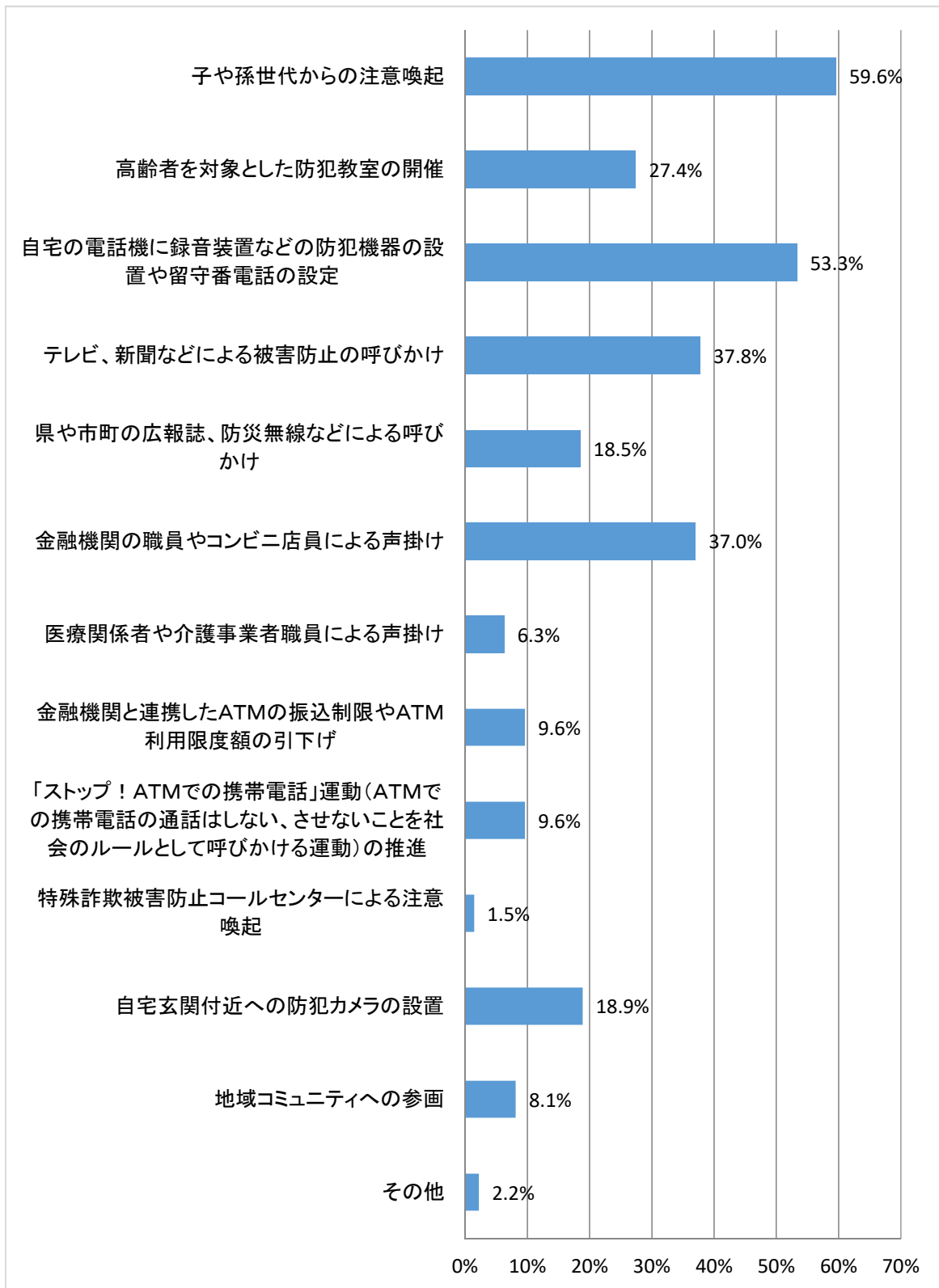
〔問9〕 あなたは、次の警察以外の機関、事業者などから、特殊詐欺被害防止に関する注意喚起を受けたことがありますか。注意喚起を受けたことがある事業者などを、次の中からすべて選んでください。

選択肢	回答者数 270	
	回答者数	構成比
民生委員	7	2.6%
行政機関(県・市町)	43	15.9%
金融機関	48	17.8%
コンビニエンスストア	6	2.2%
宅配事業者	1	0.4%
スーパーマーケット	8	3.0%
医療機関	1	0.4%
介護事業者	2	0.7%
保険会社	1	0.4%
注意喚起を受けたことがない	180	66.7%
その他	5	1.9%
無回答	4	1.5%



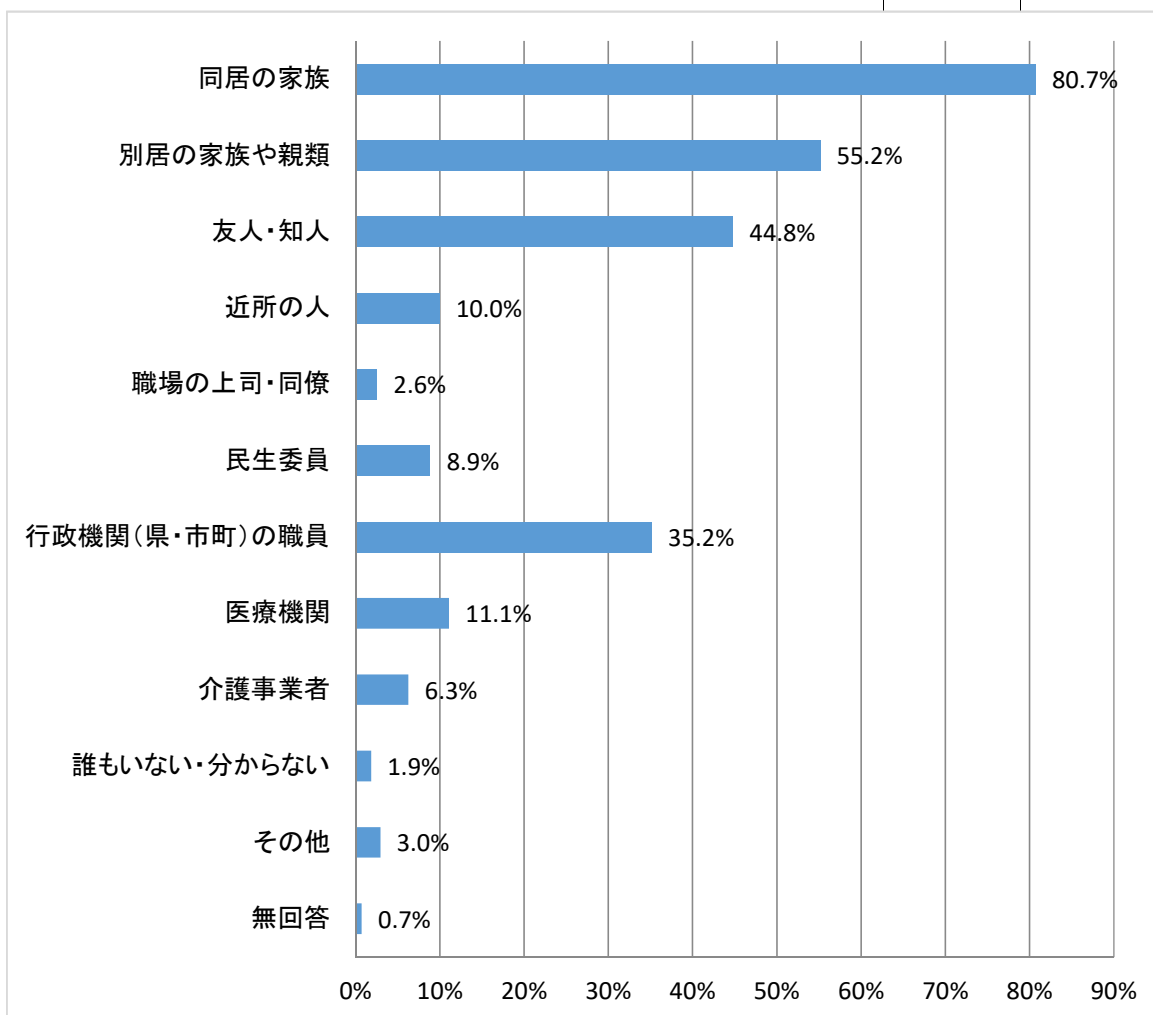
〔問10〕 あなたは、高齢者の特殊詐欺被害を防止するためには、どのようなことが重要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

選択肢	回答者数 270	
	回答者数	構成比
子や孫世代からの注意喚起	161	59.6%
高齢者を対象とした防犯教室の開催	74	27.4%
自宅の電話機に録音装置などの防犯機器の設置や留守番電話の設定	144	53.3%
テレビ、新聞などによる被害防止の呼びかけ	102	37.8%
県や市町の広報誌、防災無線などによる呼びかけ	50	18.5%
金融機関の職員やコンビニ店員による声掛け	100	37.0%
医療関係者や介護事業者職員による声掛け	17	6.3%
金融機関と連携したATMの振込制限やATM利用限度額の引下げ	26	9.6%
「ストップ！ATMでの携帯電話」運動(ATMでの携帯電話の通話はしない、させないことを社会のルールとして呼びかける運動)の推進	26	9.6%
特殊詐欺被害防止コールセンターによる注意喚起	4	1.5%
自宅玄関付近への防犯カメラの設置	51	18.9%
地域コミュニティへの参画	22	8.1%
その他	6	2.2%



〔問11〕 特殊詐欺の被害に遭った場合、被害者はそれを打ち明けられず自分を責め続けてしまう傾向が見られ、被害者に対するメンタルケアやフォローも重要であると考えますが、警察以外でどのような方からのケアやフォローが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

選択肢	回答者数 270	
	回答者数	構成比
同居の家族	218	80.7%
別居の家族や親類	149	55.2%
友人・知人	121	44.8%
近所の人	27	10.0%
職場の上司・同僚	7	2.6%
民生委員	24	8.9%
行政機関(県・市町)の職員	95	35.2%
医療機関	30	11.1%
介護事業者	17	6.3%
誰もいない・分からない	5	1.9%
その他	8	3.0%
無回答	2	0.7%





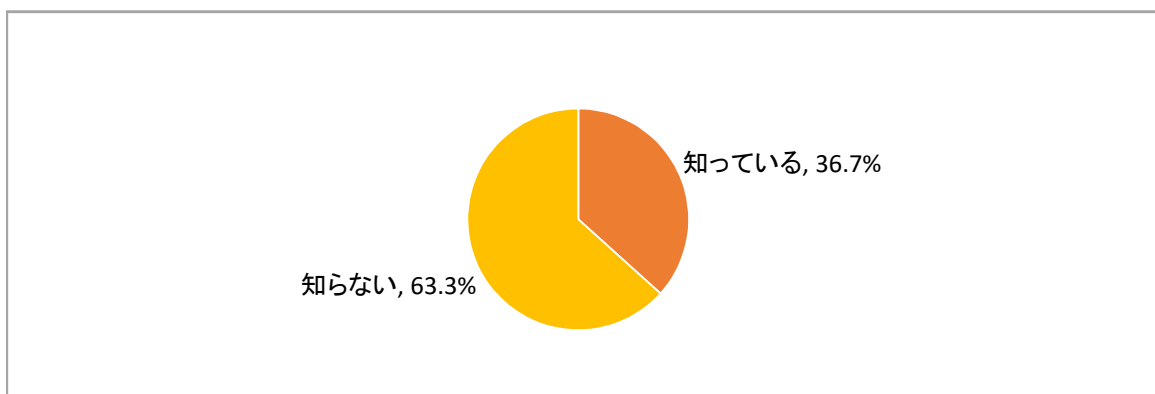
〔問12〕 平成29年度から、香川県警察において、「振り込め詐欺撃退装置体験貸出事業（※）」を実施していますが、あなたはそのことについて知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ 振り込め詐欺撃退装置は、固定電話に取り付けることで、着信音が鳴る前に、電話をかけてきた人に「犯罪被害の防止のため、会話内容が自動録音されます」と警告メッセージを流し、電話に出ると、実際に会話を自動録音する機器です。

装置は、県内在住の65歳以上の方およびそのご家族の方を対象に、半年間、無料で貸出しております。

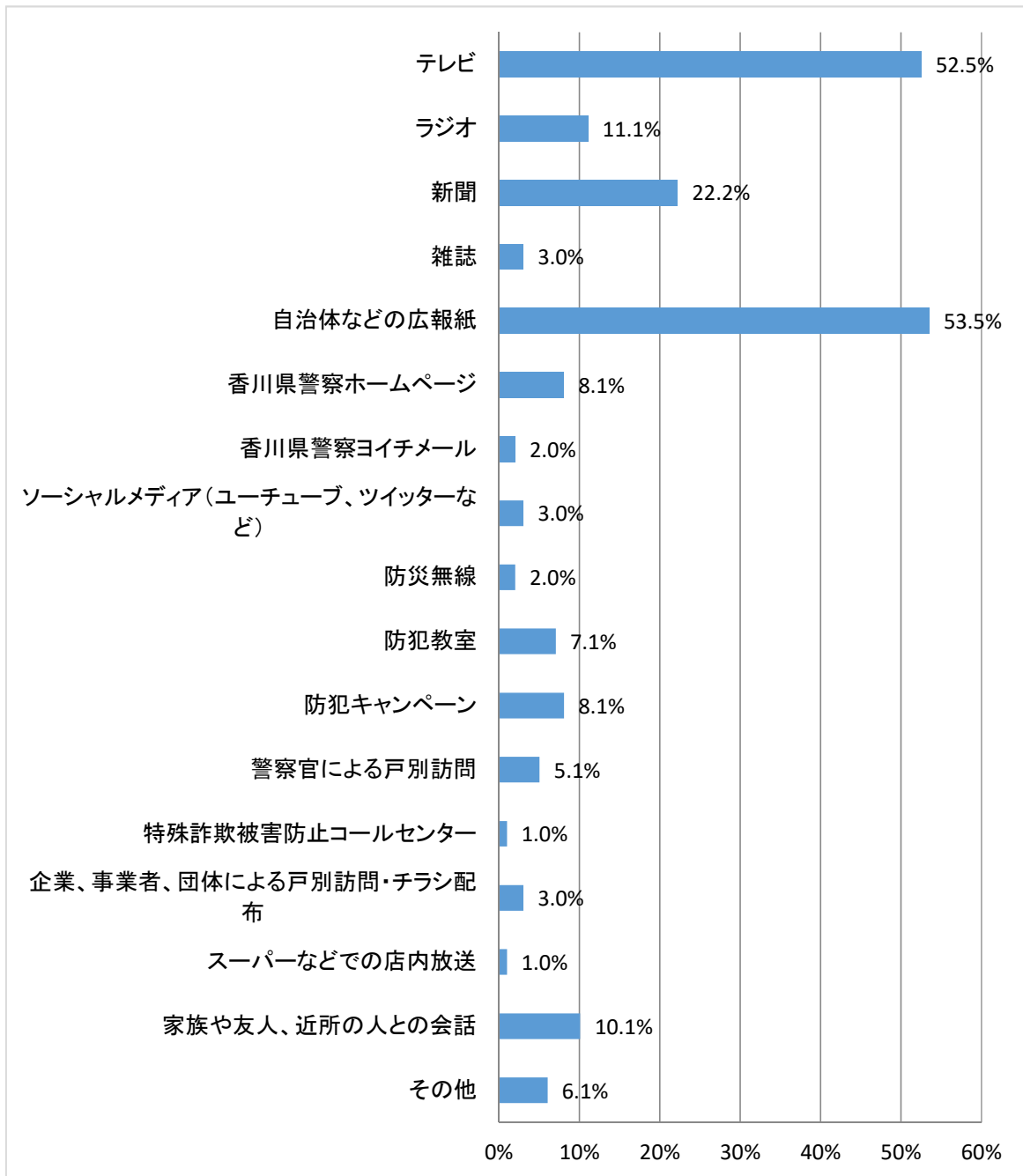
なお、家電メーカーから、電話機自体に同様の機能を備えた、防犯機能付き電話機も販売されております。

選択肢	回答者数	構成比
知っている	99	36.7%
知らない	171	63.3%
計	270	100.0%



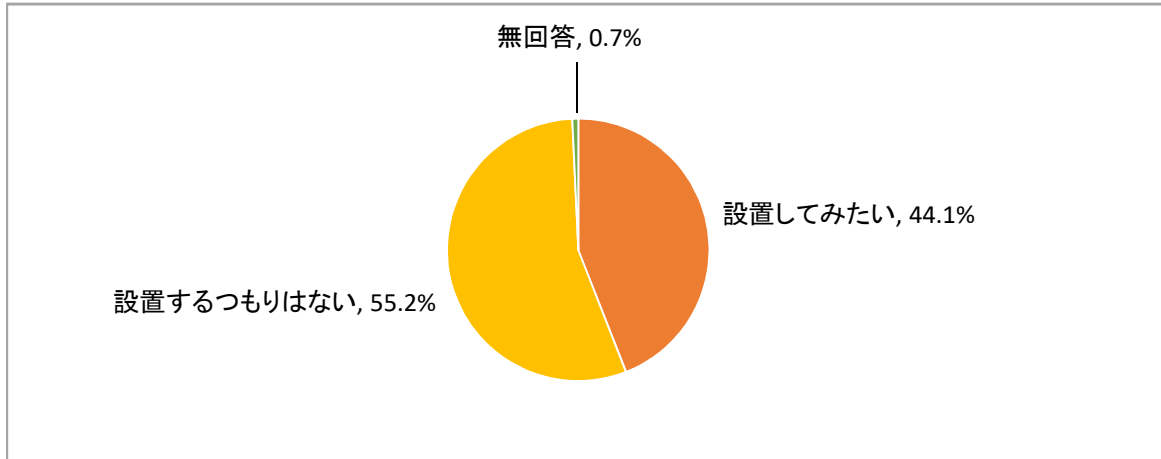
〔問12-1〕 問12で「知っている」と答えた方にお伺いします。  
あなたは、この事業を何で知りましたか。次の中からすべて選んでください。

選択肢	回答者数	
	回答者数	構成比
テレビ	52	52.5%
ラジオ	11	11.1%
新聞	22	22.2%
雑誌	3	3.0%
自治体などの広報紙	53	53.5%
香川県警察ホームページ	8	8.1%
香川県警察ヨイチメール	2	2.0%
ソーシャルメディア(ユーチューブ、ツイッターなど)	3	3.0%
防災無線	2	2.0%
防犯教室	7	7.1%
防犯キャンペーン	8	8.1%
警察官による戸別訪問	5	5.1%
特殊詐欺被害防止コールセンター	1	1.0%
企業、事業者、団体による戸別訪問・チラシ配布	3	3.0%
スーパーなどでの店内放送	1	1.0%
家族や友人、近所の人との会話	10	10.1%
その他	6	6.1%



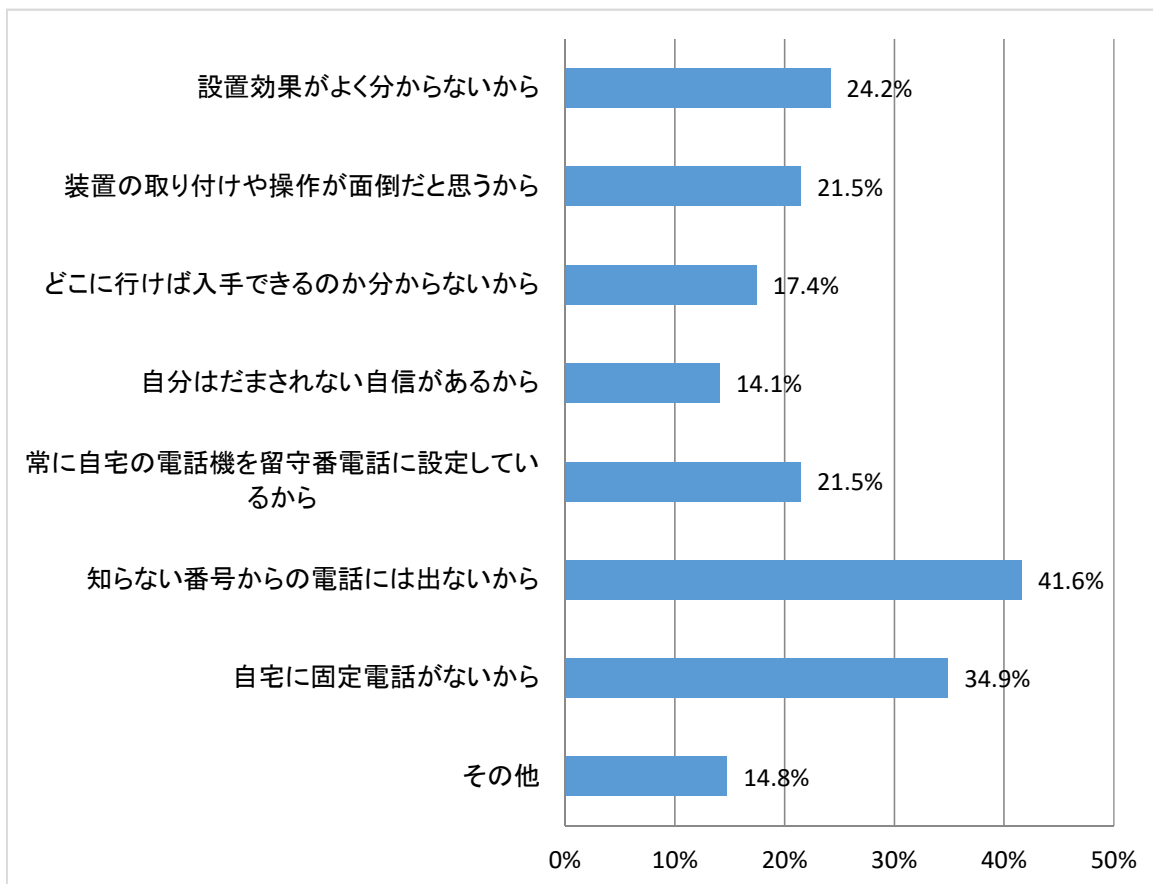
〔問13〕 あなたは、特殊詐欺の被害を防止するため振り込め詐欺撃退装置を設置してみたいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
設置してみたい	119	44.1%
設置するつもりはない	149	55.2%
無回答	2	0.7%
計	270	100.0%



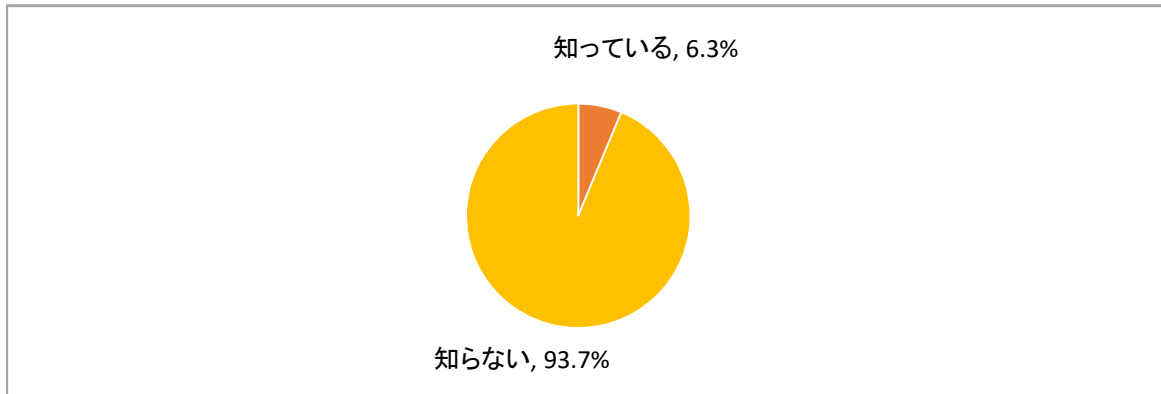
〔問13-1〕 問13で「設置するつもりはない」と答えた方にお伺いします。  
 なぜそのように思いますか。次の中から3つまで選んでください。

選択肢	回答者数 149	
	回答者数	構成比
設置効果がよく分からないから	36	24.2%
装置の取り付けや操作が面倒だと思うから	32	21.5%
どこに行けば入手できるのか分からないから	26	17.4%
自分はだまされない自信があるから	21	14.1%
常に自宅の電話機を留守番電話に設定しているから	32	21.5%
知らない番号からの電話には出ないから	62	41.6%
自宅に固定電話がないから	52	34.9%
その他	22	14.8%



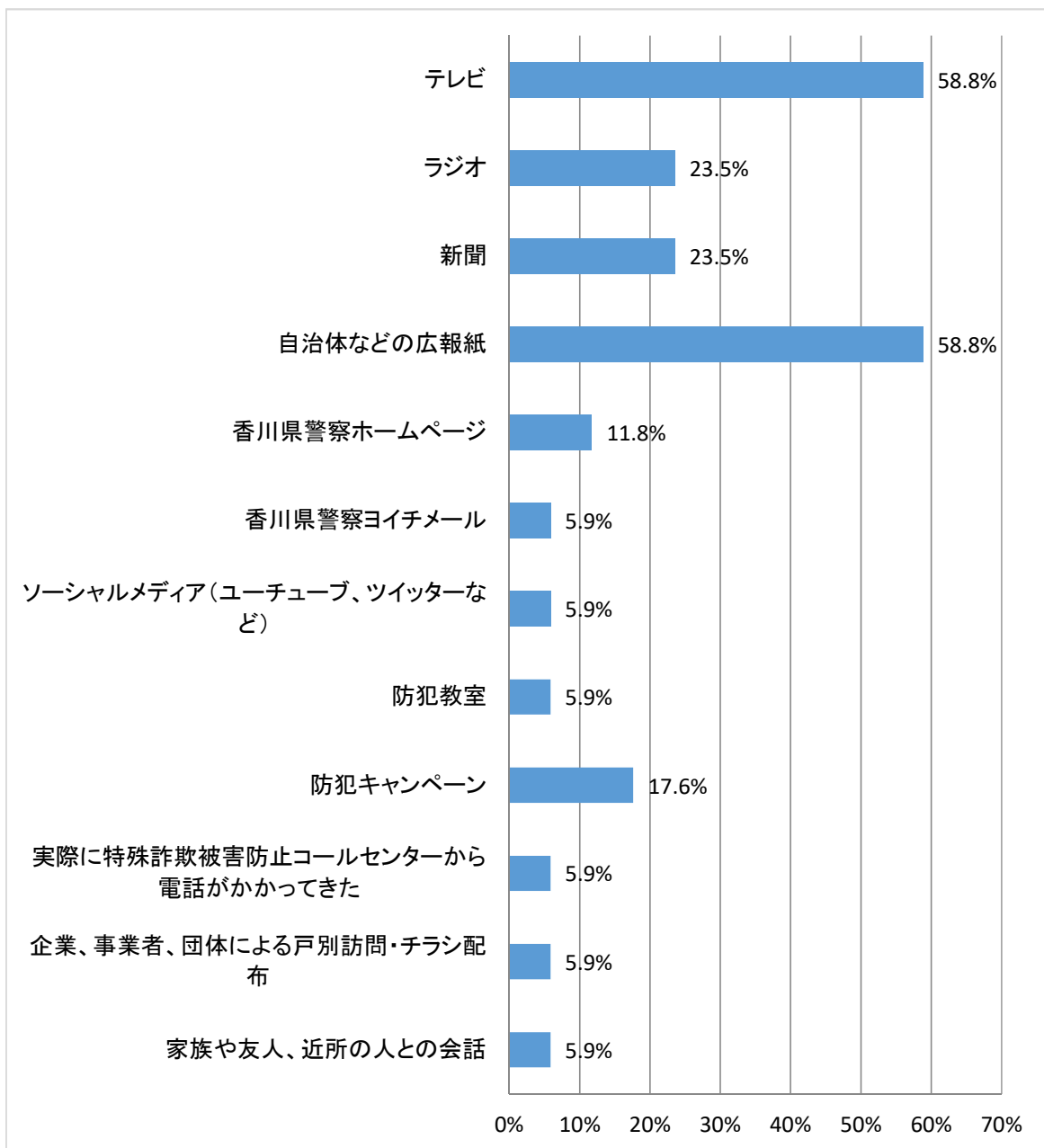
〔問14〕 香川県警察では「特殊詐欺被害防止コールセンター事業」を運用し、オペレーターが県民に直接架電して、特殊詐欺の手口やその対策について注意喚起などを行っています。あなたはそのことについて知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
知っている	17	6.3%
知らない	253	93.7%
計	270	100.0%



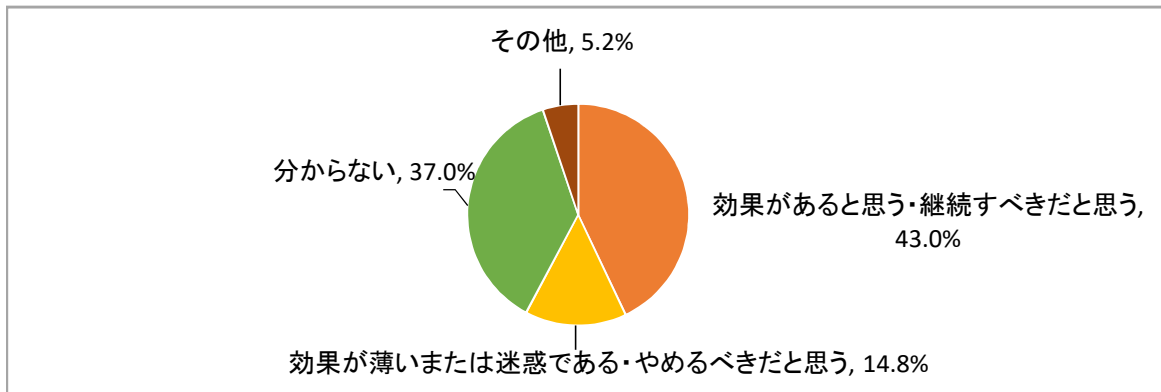
〔問14-1〕 問14で「知っている」と答えた方にお伺いします。  
あなたは、この事業を何で知りましたか。次の中からすべて選んでください。

選択肢	回答者数	
	回答者数	構成比
テレビ	10	58.8%
ラジオ	4	23.5%
新聞	4	23.5%
自治体などの広報紙	10	58.8%
香川県警察ホームページ	2	11.8%
香川県警察ヨイチメール	1	5.9%
ソーシャルメディア(ユーチューブ、ツイッターなど)	1	5.9%
防犯教室	1	5.9%
防犯キャンペーン	3	17.6%
実際に特殊詐欺被害防止コールセンターから電話がかかってきた	1	5.9%
企業、事業者、団体による戸別訪問・チラシ配布	1	5.9%
家族や友人、近所の人との会話	1	5.9%



〔問15〕 「特殊詐欺被害防止コールセンター事業」についてどう思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

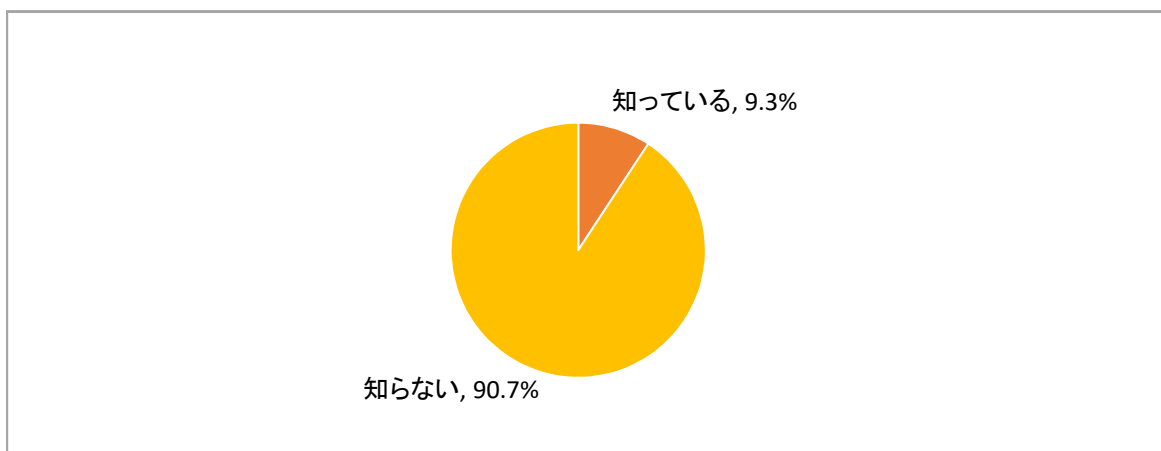
選択肢	回答者数	構成比
効果があると思う・継続すべきだと思う	116	43.0%
効果が薄いまたは迷惑である・やめるべきだと思う	40	14.8%
分からない	100	37.0%
その他	14	5.2%
計	270	100.0%



〔問16〕 特殊詐欺対策として平成27年4月1日から県内の金融機関において、高齢者の方が高額現金を引き出す場合には「預金小切手」の活用（通称「預手プラン」）を勧めています。あなたはそのことについて知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ 預手プランとは、香川県警察が金融機関と連携して、金融機関の窓口において、高齢者の方が高額現金を引き出す場合には、引き出しの理由の確認に加え、「預金小切手」のご利用をお勧めし、特殊詐欺に巻き込まれている可能性が高いと判断された場合に、警察に連絡するという取り組みです。

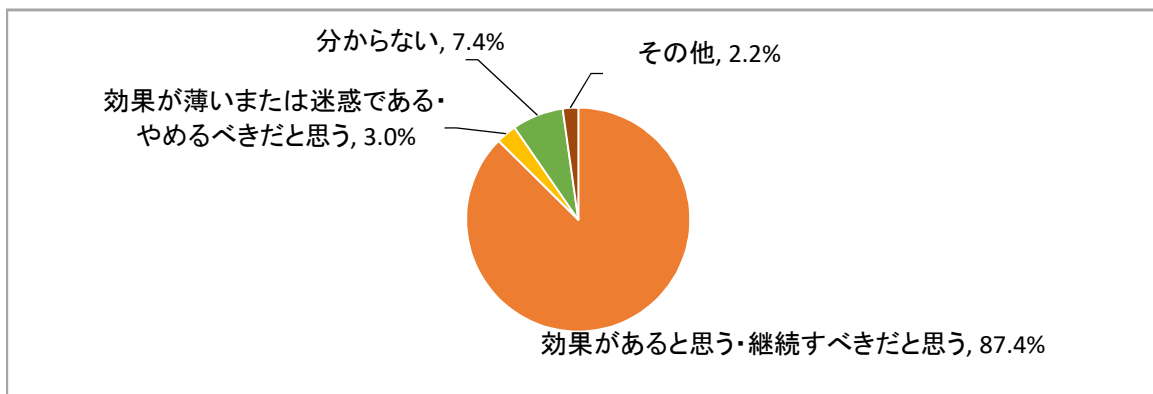
選択肢	回答者数	構成比
知っている	25	9.3%
知らない	245	90.7%
計	270	100.0%





〔問17〕 特殊詐欺対策として、金融機関において、高額な現金を取引（出金・振込など）される方や、コンビニエンスストアにおいて高額の電子マネーを購入される方に対して職員などがその理由などをお尋ねする場合がありますが、あなたはそのことについてどう思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
効果があると思う・継続すべきだと思う	236	87.4%
効果が薄いまたは迷惑である・やめるべきだと思う	8	3.0%
分からない	20	7.4%
その他	6	2.2%
計	270	100.0%



※ 表中の構成比は、四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合があります。